

トークイベント

劇場で考える ～ジェンダー・多様性～

参加者募集

2022. **6.11** 土
14:00-15:30

久留米シティプラザ 中会議室
(久留米市六ツ門町 8-1 4F)



料金 無料 (要申込)
定員 30名 (先着順)

市原佐都子 / Q
「妖精の問題 デラックス」
関連事業 プレレクチャー

久留米シティプラザでは、才能あふれる新世代の劇作家・演出家のひとり 市原佐都子の「妖精の問題 デラックス」を7月に上演します。

上演に先駆けて、作品の背景にある事柄、ジェンダーやセクシュアリティをめぐる諸課題をテーマにしたトークイベントを開催。

ゲストには、店頭でジェンダー、フェミニズム関連の書籍も多く取り扱う、うきは市の本屋・MINOU BOOKS 店主・石井勇氏、フェミニズム美術史の視点をもとに展覧会を企画し、文章等でも発信している福岡市美術館 学芸員・正路佐知子氏をお迎えします。それぞれの体験から見えてきたことを共有し、そして、あるべき未来像を探ります。

公演情報

市原佐都子 / Q 「妖精の問題 デラックス」

市原佐都子が、自身の内面や生きづらさを起点に創作。誰しもが直面してきたであろう差別や偏見を、バンド演奏や漫才、歌、ダンスでユーモラスにかつ斬新に描きます。

日時 | 2022年 **7月2日** (土) 17:30 開演、**3日** (日) 13:30 開演

会場 | Cボックス

作・演出 | 市原佐都子

出演 | 朝倉千恵子、筒井祐奈子、大石英史、キキ花香、
廣川真菜美、富名腰拓哉、緑ファンタ

チケット発売日: 5月22日 (日) 10:00 ~



詳細は久留米シティプラザ WEB サイトをご覧ください →

製作 | ロームシアター京都

ゲスト

石井 勇 (MINOU BOOKS 店主)

福岡県うきは市生まれ。福岡市天神のブックカフェにて書籍、雑貨のバイヤーを勤める傍ら音楽やデザインイベントなどの活動を経て、うきは市吉井町に書店とカフェのお店「MINOU BOOKS」をオープン。

正路 佐知子 (福岡市美術館 学芸員)

2007年10月より現職。近年の企画に「インカ・ショニバレ CBE: Flower Power」(2019)、「コレクションと展示のジェンダーバランスを問い直す」(2021-22)、「田部光子展『希望を捨てるわけにはいかない』」(2022)がある。

進行

長津 結一郎 (九州大学大学院芸術工学研究院 教員)

多様な関係性が生まれる芸術の場に伴走/伴奏する研究者。専門はアーツ・マネジメント、文化政策。著書に『舞台の上の障害者: 境界から生まれる表現』(九州大学出版会、2018年)。

申込方法

以下の内容を記載して、メール・郵送のいずれかで、お問合せ先までお申込みください。

- 妖精の問題レクチャー 参加希望
- 氏名 (ふりがな) ■ 住所
- メールアドレス ■ 電話番号

締切
6.1水

※参加者の個人情報については、
当事業のために使用し、その他の目的には使用しません。

お問合せ

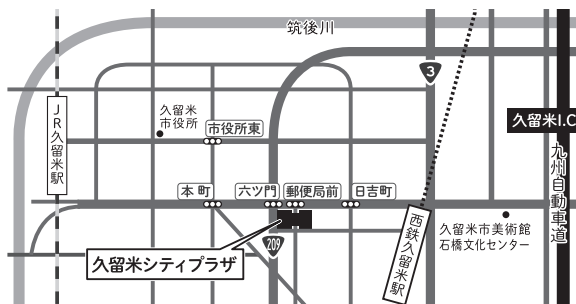
久留米シティプラザ 事業制作課

〒830-0031 久留米市六ツ門町 8-1

E-mail: kcp-j@city.kurume.lg.jp

TEL : 0942-36-3000 (10:00~19:00 休館日を除く)

アクセス



バス : 「六ツ門・シティプラザ前」バス停下車
西鉄電車: 西鉄久留米駅から路線バス5分、徒歩10分
JR : 久留米駅から路線バス10分、徒歩20分